

会議名 第49回ニセコ町観光戦略会議

開催日	平成27年9月2日(水)	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 9:00
会議場所	ニセコ町役場 第二会議室	記録者	商工観光課観光戦略推進係 係長 齊藤 徹
出席者	委員：渡辺委員、梅津委員、吉村委員、木下委員、櫻井委員、今野委員、大久保委員、服部委員、宮崎委員、 事務局：前原商工観光課長、齊藤観光戦略推進係長、馬淵観光圏推進係長		
欠席者	委員：小関委員、チャール委員、片岡委員		

【主な内容】

◇観光魅力アップ事業の提案について(1件)

①道の駅ニセコビュープラザ活性化事業

提案者 道の駅ニセコビュープラザ秋の収穫・大感謝祭実行委員会
実行委員長 多田氏(直売会)、事務局 加藤氏(観光協会)

(資料は別紙のとおり)

《主な質問・意見》

- ・ イベントが増えることはとても良い。どんどんやるべきで、魅力アップにつながる。
- ・ 昨年まで、8月に実施していたが、どれくらい集客していたのか。
→ 昨年までは8月の第1週に「誕生祭」として実施していたが、人数ははっきりしないが2~3千人程度と思われる。繁忙期ではあるが、イモやスイートコーンなどの農作物がまだ不足していた時期であった。もっとニセコの味覚を知ってもらう意味でも、9月が適しているという判断をした。
- ・ とうきび味比べとはどれくらいの種類？
→ 今のところ、7種類程度の予定
- ・ 告知はもう行ったのか。NPBなどほかのサイトに載っていないが。
→ チラシについては、広報折込と、近隣町村の道の駅や札幌の観光案内所などに配布した。インターネットについては、あまりパソコンに強い人がいなく、対応ができないでいる。
- ・ もうイベントはやることになっているが、町補助金がなかったらどうするのか。
→ 自己資金でやるしかない。
- ・ 予算の中で、ラジオニセコの人件費は万度でよろしいのか。
→ 現時点では予算ということで、定価で計上している。ラジオニセコの独自の番組として、経費を抑えるなどの検討をする。
- ・ 来年から補助金がなくても続くのか。
→ 今年度は、野菜のゲームなど結果的にどれだけかかるのか不明な部分も多く、今回実証してそれだけかかるか判明したら、次年度以降はバランスが取れるよう自主運営できるようにする。
- ・ せっかく人が集まるので、観光協会として合わせてニセコのPRは考えているか。帰りに温泉に入れるよとか、効果的にPRすべき。

→主に野菜の収穫祭の意味合いでターゲットは近隣や町民の方が多くなる。駐車場が不足して頭打ちになる可能性もあるが、混んでいても行きたいというイベントをどんどん打ち出していきたいと考えている。

・ほかにも出店したい人や、当日はキラキラ市や福祉祭りなどイベントが重なる。もっと連携して取り組むことができたのでは。

→イベントカレンダーなどを作成しておらず、情報不足だった面もある。出店者については、現在実施しているカップグルメについても全事業者に声掛けをして説明会の場を設けたが1事業者も来なかった現状がある。

・ニセコに来る人は、真狩で水を汲んで、野菜を買いに道の駅に必ず寄る。そこから町中へ呼び込むような道標や黄金ルートのようなものができれば。

・「収穫祭」と銘打っているので、どこの畑で採れたとかがわかるMAPなどがあれば面白い。

・生産者の顔をイベント会場の中庭にも出すようにできないか。

→写真は入口に飾ってはいるが、経費が結構掛かっているのと、会員には高齢者が多く、立派なものをつくれないうる現状である。生産者の多くは手伝いにも来るので、生の顔を見てもらう。

・そのようなお金がかかる表示物やスキルがないWEB制作などこそが、補助の対象になりうるべきもの。自分ではできないから、その部分を支援してくれというように。

・ビュプラザの椅子やテーブル、パラソルが少ない。もっと増やして休むところを作った方が良い。

上記意見を踏まえて精査し、補助することで事務局（町）の判断ですすめる。

◇その他意見交換・提案

《中央倉庫について》

・中央倉庫についての情報がないか

→中央倉庫群については、いま観光施設としてではなく、まちづくりの施設として建設課で所管して民間の力を利用した再利用について検討している。現在、公募により1件が応募している状況であるが、これから様々な方法で育てていく施設であるので、戦略会議からの意見や提案があれば、どんどん提案してもらって構わない。駅前エリアについては、宿泊所やアパートなどの意見もあり、中央倉庫エリア以外のスペースについての再利用についても検討している。

・最近、山の方にコンドミニアムをもっている外国人富裕層などが、市街地の空き家を購入してリノベーションするケースも増えてきている。

《テーブルサーチニセコ（飲食店空き情報検索システム）について》

・去年の冬に、魅力アップ事業を使用して作ったシステムだが、冬だけではなく、夏も稼働してほしい。

→商工会に伝える。

《ペンションについて》

・ペンション経営者の高齢化が進んでおり、外国人に買われていくケースが多いが、空きペンションに入ってきて研修して、最終的に買い取れるようなサポート制度があれば。

→賑わいづくりサポート事業などがある。

・民泊特区のようなものは。

→ニセコの場合は、しっかりやっている宿泊業専門家がたくさんおり、ちょっとしたことがニセコ全体の評判を落としかねないので、リスクがおおきく現時点ではふさわしくないと考えている。

《グリーンバイクプラスについて》

・グリーンバイクプラスの状況は。

→（梅津事務局長）7月第2週からスタートして189台。ほとんどアシスト自転車。

・充電は持つのか。

→自転車はもつが、電動バイクではバッテリー切れがあり、ペダルはついているが、坂の場所で重たかったので、バッテリーを持って行ったケースがあった。

《観光パンフについて》

・パンフの事業者欄にマップの位置情報を掲載すると使いやすい。

→マップにも事業者の一覧はついているが、次回更新時に検討。

・ニセコエリアを一冊にまとめたものがやはりほしい。

《観光協会の業務について》

・観光協会の現在の体制業務についてはどのようになっているか。

→（梅津事務局長より説明）

《ノベルティ》

・ニセコのステッカーやピンバッジなどのノベルティを観光協会のオリジナル商品として販売しては。

→見積もりを取り、検討する。

《観光戦略会議について》

・実際に、話をまとめていくにはもう少し少人数化して、ワーキンググループのようなチーム化した方が良いのでは。

→今後検討

・近隣町では観光圏など役場職員同士のつながりはあるかもしれないが、事業者同士のつながりがあまりない。

→広域での話し合いなどは、観光圏などのテーブルがある。

・以前から言っているが戦略会議主体に、近隣に声掛けして意見交換の場を設けることができないか。倶知安の観光協会の理事会などは、とてもこの会議に興味を示している。近隣事業者間の壁を少しでも取り除くことができれば、近隣のイベントなども情報共有しやすい。固い場ではなくあくまで情報交換・意見交換の場としてぜひお願いしたい。

→場の設定について、開催の調整する。

《その他》

・国内のファミリー層向けにアクティビティと英語学習を合わせたエデュケーショナルプログラムの

体験事業の道筋を作っていきたい。魅力アップ事業の提案を考えている。

◇その他情報提供

・観光圏による地方創生事業に、デジタルサイネージの実施を3町でエントリー。採択

されるかは全く未定

- ・ 函館-ニセコ-倶知安間の高速バス「しりべし号」情報提供
- ・ JR臨時特急ニセコ号の情報提供
- ・ 観光庁による産学連携による旅館・ホテル経営人材育成事業の情報提供

◇次回日程（予定）

平成 27 年 9 月 30 日（水）予定